

沖縄県南城市仲村渠区における地域行事と公民館整備計画策定プロセス Community Events and Community Center Development Plan Development Process in Nakandakari District, Nanjo City, Okinawa, Japan

○由利充翠¹, 木村匠², 中村真也²

Mitsuaki YURI, Sho KIMURA, Shinya NAKAMURA

1. はじめに

本報告は、沖縄県南城市仲村渠（なかんだかり）区における地域拠点施設（公民館）整備に向けた計画策定プロセスについて紹介する。人口約 220 人の小規模集落である仲村渠区では、地域行事や文化、世代を超えたつながりを活かした施設計画を目指し、住民参加型ワークショップ（以下、WS）を実施した。

2. WS の構成とプロセス

地域の現状把握、施設利用のイメージ共有、年間の活用方法の検討に至るまで 3 回に分けて段階的な検討を実施した。また、各 WS の後に参加できなかった地域住民へ検討内容が伝わるようニュースペーパーを発行して周知を行った。

【第一回 WS】地域の理解と利用イメージの共有

地域住民の日用品の買物行動、職業・職種、教育環境、余暇の過ごし方などと共に、年間の地域行事を付箋に書き出し、参加者で共有した。次に公民館でやりたいことを付箋に書き出して共有し、これらをもとに各自で年間利用イメージシート（表 1）を作成した。シートにはホール、キッチンなどの各設備をいつどのように使うか詳細に記入してもらい年間の利用イメージを持ってもらうことに留意した。

【第二回 WS】施設機能と空間の具体化

シートを用いて想定利用人数から諸室の広さを検討した。例えば、ホールは一番たくさん人が集まる地域行事を想定し、○○人 × 3.5 m² / 人と必要空間を算出する。地下 1 階地上 3 階程度の建物を想定し、建築可能面積を超えないよう各フロアに諸室をどのように配置するか考えてもらった。さらに、ロゴマークの要素抽出として「好きなオヤツベスト 3」「カレーに入れたいものベスト 3」「ロゴマークに入れたいものベスト 3」の順に質問し、回答を得た。オヤツとカレーはアイスブレイクを兼ねたものだったが翌年に「ナカンダカリ」として南城市主催の地域イベントで販売された。

【第三回 WS】ロゴと活用方針、運営体制の合意形成

デザイナーと協働し、地域の象徴を取り入れたロゴ案を検討した。さらに、前回までに出た要望を取り入れたゾーニング案を用いながら空間構成の最終確認を行った。

¹株式会社 APOLLO BREW, ²琉球大学農学部 (Faculty of Agriculture, University of the Ryukyus)

キーワード： 参加型設計、地域拠点、ワークショップ、地域資源、伝統行事

観月会やキリシタンチョウ（敬老会）といった大人数が集まるイベントや通年の稻作にまつわる取り組みなどから空間構成を検討し、施設整備にかかる費用と並行した事業展開や収益化の課題について意見交換を行った。

表-1 年間利用イメージシート

周	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27																					
	年始						卒業シーズン						入学、入社						ゴールデンウィーク						梅雨時期																							
月	1月						2月						3月						4月						6月																							
主な行事 (全国)	お正月 箱根駅伝 七草がゆ 鏡開き 成人の日 芥川賞 大学入試センター試験 新年会						節分 立春 バレンタイン グラミー賞 アカデミー賞						ひなまつり 卒業式 ホワイトデー 春分の日 確定申告 センバツ春の甲子園						入学式 花見 エイプリル フール イースター(復活祭)						子供の日 こいのぼり 母の日 ゴールデンウィーク																							
沖縄に関する行事	各地さくらまつり ムーチー ホエールウォッチング 御願解き(ウガントゥチ)						プロ野球キャンプイン(県内各地)、旧正月 十六日(ジユールクニチ) 花と食のフェスティバル おきなわマラソン(沖縄市)、廿日正月(ハチカソーグアチ)						東村つじ祭り(東村) ウマチー(ニンガチウマチ) 各地海開き						清明祭(シーミー) シーサーの日 浜下り(ハマウリ) 伊江島ゆり祭り(伊江村)						那覇ハーリー 梅雨入り 陸払い(アブシハレー) 鯉のぼり祭り(県内各地)																							
仲村渠に関する行事・イベント	成人式、餅つき、ムーチー、初日の出 親田御願(旧正月の後)						ナッカーキャンブ						ダイキンオーキッド、オープンガーデン						海開き																													
季節テーマ																																																
公民館(ムラヤー)	主な催し																																															
施設A(
施設B(
施設C(
農村公園																																																
駐車場																																																
イベント																																																

3. 結果

仲村渠区は地域行事の保存継承に積極的であり、沖縄の稻作発祥の地としての伝統行事を多く持つ地域である。本地域イベントや行事に使用する道具の保管場所のほか、ミニディサービスや子ども達の勉強スペースなど通年等してイメージすることができた。公民館整備において地域行事の整理、分析を基に、年間利用イメージの作表、必要空間と参加人数の把握が極めて有効と感じられた。WSを通じ、やりたいことや維持管理計画、収益事業の検討なども継続して検討すべきとされ、施設整備と活用計画としてまとめることができた。

4. 今後の展望

自治公民館建設費用として仲村渠区は区有地の売却を進めている。今後は、施設整備と並行して住民による活用企画の実践、収益性のある事業の施行などソフトとハード両面で地域拠点を育てていく必要がある。また、他地域での拠点整備においても地域行事の把握から通年の活用方法の検討が有効なアプローチとなることを検証したい。

謝辞：本報告は 2022 年度に仲村渠区の依頼を受け実施した地域交流拠点整備に向けた WS をまとめたものです。区長をはじめ参加いただいた皆様に謝意を表します。

引用文献

- 仲村渠区（2021）：仲村渠区地域活性化計画。
- 仲村渠区祭祀委員会（1990）：ミントン 仲村渠祭祀資料、No,1, 53.
- 南城市企画部観光商工課（2017）：南城市型エコミュージアム実施計画報告書、49.